

		事業所における自己評価結果（公表）			
公表：2024年3月7日				事業所名：障害児保育園ヘレン中村橋	
		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1. 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2. 職員の配置数は適切であるか	○		スタッフの休暇時には複数園勤務者やパートスタッフのヘルプ要請をしている 以前と比すとスタッフの人数不足を感じる スタッフ数が多いので個別の体操、食事時の配慮点などは写真などで視覚化をして誰でもかかわれるようにしている。	スタッフの休暇等へ柔軟に対応出来るよう、複数園勤務看護師の運用や他園や他事業部スタッフのヘルプの調整等を実施します
	3. 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4. 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		おもちゃの入れ替えが定期的でできず、マンネリ化している	移転後の新環境の元、季節感を取り入れる等の変化ある保育活動を実施できるようにします
業務改善	5. 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝の全体MTGや各部門のMTGは引き続き実施します。また情報の伝達はCWや書類の回覧や連絡ノートも活用し、常勤や非常勤スタッフへもれなく伝わるようにします
	6. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8. 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		自身の把握不足で分かりません	第三者による外部評価は行っておりません。保護者および職員向けの評価表をもとに事業所ごとに業務改善を行っております
	9. 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修の情報は数多く提供されているが、業務との兼ね合いで参加できないことが多い	
	10. アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11. 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		特定のツールは使用していない。誰でも使用できるツールを使うことを進めたい	標準化されたツールを使用できるよう検討して参ります
適切な支援の提供	12. 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13. 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個々に応じた課題を作り、個別の時間としてマンツーマンでかかわる時間をつくっている。	

	14. 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			新体制の元引き続き保育ミーティング等を実施し立案検討、共有を進めます
	15. 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		パターンでプログラムだてをしているが、季節感や行事などで変化をつけている。	
	16. 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		重心児は登園から集団活動が始まるまでの時間で体ほぐしなどの個別の体操を行っている。動ける子どものクラスでは、週2回個別時間をつくりそれぞれの子どもに必要な認知課題と運動課題を行っている。	
	17. 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18. 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎回必ずという頻度では振り返れていない	支援終了後の全体打ち合わせはシフト上難しいため、日案や週一回開催の保育MTG時にも日々の支援において振り返りを実施します
	19. 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	20. 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21. 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		わからない  当地域の登壇支援事業所が担当者会議を開かないので参加したことがない	サービス担当者会議が開催された時には参加して情報共有をします。また支援事業所とのコンタクトも意識的に行って参ります
	22. 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		家庭により子ども家庭支援センターと連絡を取っている	
	23. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		家庭支援センター、卒園後の特別支援学校との連携など  就学先の学校と連携をとっている	
	24. (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力	○		受診同行 必要に応じて看護師が診察同行を行う	
	25. 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26. 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27. 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		わからない	必要性に応じ、各関係機関と連携をとって参ります
	28. 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		わからない 短時間だが近くの保育園に1~2名単位で訪問した	移転の期間も近隣の保育園等へコンタクトし交流保育が実施できるよう働きかけます
	29. (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			必要性に応じ、機会があれば参加するようにいたします
	30. 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			

	31. 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	<input type="radio"/>			現在家族支援プログラムに沿った支援は実施していませんが、必要に応じて導入を検討してまいります。また、スタッフがペアレント・トレーニングの研修に参加することで保護者の方にお役に立てるような機会を検討していきます
保護者への説明責任等	32. 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>			
	33. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	<input type="radio"/>			
	34. 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>			
	35. 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	<input type="radio"/>			年2回ほど保護者交流会を実施していますが、頻度を上げて欲しいという要望もあり検討して参ります
	36. 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>			
	37. 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>			園だよりを発行しています。発行頻度に関しましては検討して参ります
	38. 個人情報の取扱いに十分注意しているか	<input type="radio"/>			
	39. 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>			
	40. 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input type="radio"/>			移転後も身障センターさんとの交流を図っていきたく思います
非常時等の対応	41. 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>			
	42. 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	<input type="radio"/>		施設の特性に合わせた訓練や避難する際の持ち出し物品についてもっと検討したほうが良い	
	43. 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	<input type="radio"/>			
	44. 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	<input type="radio"/>			
	45. ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	<input type="radio"/>			
	46. 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	<input type="radio"/>			
	47. どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に税明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	<input type="radio"/>			